

かとう ももこ

●平成7年(1995年)牧之原市細江区生まれの19歳。  
東京都在住。小学校6年生のときに日本将棋連盟の奨励会に入会。現在は奨励会初段。趣味は体力作りを兼ねたスポーツトレーニング。師匠は安恵照剛八段で、尊敬する棋士は島朗九段や先崎学九段。



市長から委嘱状を受け取る加藤さん

加藤桃子女流王座・女王



加藤さんは、両親が将棋の指導をしていたこともあり、5歳の時から将棋を始めました。小学校5年生のときに全国小学生将棋大会で優勝。6年生になると、将棋の世界に身を置くために、母の実家が

プロ棋士を目指す

加藤さんは「大変光栄であると同時に責任も感じています。私が活躍することで、多くの人に牧之原市のことを知ってもらえると思うので、頑張りたい」と1月5日の新春顔合わせ会で、意気込みを話してくれました。

市の魅力を発信

牧之原市細江区出身の加藤桃子さんが「静岡まきのほら大使」に就任しました。静岡まきのほら大使は、市の魅力や特産品などを国内外に広く発信する役割を担い、現在、加藤さんを含めて本市にゆかりのある有名人8人に委嘱されています。

静岡まきのほら大使に就任

ある東京に引っ越し、女性では史上2番目の若さで、日本将棋連盟のプロ棋士養成機関「関東奨励会」に入会しました。

5年生まで過ごした市の印象を「山や海が近くにあって自然があふれ、リラックスできる場所」と話し、「特に龍眼山への遠足やお祭りで、舞台の引き回しなどが楽しかった」と笑顔を見せてくれました。

加藤さんは昨年、マイナビ女子オープン(五番勝負)第二局リコー杯女流王座戦の「女流



リコー杯女流王座戦5番勝負第2局の様子

王座」の2タイトルを獲得し、将棋界で最も注目されている女性となっています。将棋の魅力について、「将棋は絵画と似ていて、自分の気持ちや盤面に表現できる。新手を考えることも楽しい」と話します。また、今年の目標について、「まずは奨励会で初段から二段、三段となること。そしてプロ棋士(四段)を目指し精進していきたい。女王と女流王座の2つのタイトル防衛戦も頑張ります」と決意を語ってくれました。4月18日には、マイナビ女子オープン(五番勝負)第二局が、市内の石雲院で開催されることが決まりました。加藤さんの初めてのふるさとでの対局を、応援しましょう。



功績をたたえる  
平成26年度牧之原市表彰の受賞者

さまざまな分野で永年にわたり活躍され、市の発展に寄与された個人や団体を表彰する「牧之原市表彰」が1月5日、「牧之原市新春初顔合わせ会」に先立って執り行われました。本年度は、3人の個人と2団体が表彰されました。

問い合わせ 秘書広報課 戸塚 ☎0052

ボランティア等善行功労



植田利夫さん(落居区)

平成12年から落居区落ち合いサロンの代表を務め、高齢者の認知症予防や生きがいづくりに積極的に取り組み、地域福祉の向上に貢献されました。

交通防災功労



鈴木雅志さん(牧之原区)

消防団員として24年間にわたり尽力され、平成24年度からは団長として市民の生命、財産の安全確保に貢献されました。

民生福祉功労



大関小佳枝さん(坂部区)

民生委員児童委員として、19年11カ月間にわたり尽力され、地域住民の良き相談役として福祉の向上に貢献されました。

ボランティア等善行功労



牧之原市シルバー人材センターカラオケ愛好会

平成11年の設立以来、毎年福祉施設などを歌や舞踊をもって慰問し、地域における高齢者の支援、福祉の増進に貢献されました。

ボランティア等善行功労



さがら牧之原花の会

平成3年の設立以来、地域における花壇づくりや環境美化活動に活発に取り組み、美しく潤いのあるまちづくりに貢献されました。

